健やか運動 協力店だより

第63号

新ステッカー



練馬区子どもたちを健やかに育てる運動（健やか運動）は、区民の皆様が、青少年の健全育成について認識を深め、地域、学校および行政が一体となり、非行を防止していくことを目的とする運動です。

この運動では、健やか運動協力店の活動・青少年育成地区委員会による協力店加入要請活動やタベの音楽の放送のほか、健やかカレンダーを発行しています。

健やか運動協力店の皆様や、青少年育成地区委員を始めとして、区民の皆様が子どもたちを見守り、声をかけ、導いてくださるようご協力をお願い致します。

新ステッカー更新！（右上）

この度、約40年ぶりに健やか運動協力店のステッカーを更新しました。
協力店の各店舗には11月1日から地区委員を通じて配布されます。

練馬区では、青少年育成活動方針に基づいて、地域と一緒に、青少年の健全な育成に努めています。



«育成活動で大切な4つの目標»

❶心のかよう明るい家庭づくりを進めよう　家庭教育は教育の原点です。家庭でともに過ごす時間や、日々の会話の中で、子どもは人と触れ合う楽しさや正しい規範意識を育んでいきます。家庭で基本的な生活習慣を身につけ、健康で、いきいきとした生活を送ることが大切です。

❷青少年の社会参加の機会を増やそう　子どもは体験から多くのことを学びとります。地域での様々な経験を通して、学ぶこと、働くことの意識や楽しさを実感し、社会参加の意識が養われます。

❸健全で安全な社会環境づくりを進めよう　子どもの成長にとって、地域の環境はとても大切です。地域の皆さんが声をかけ合い、子どもたちを取り巻く健全で安全な環境を作ることが必要です。

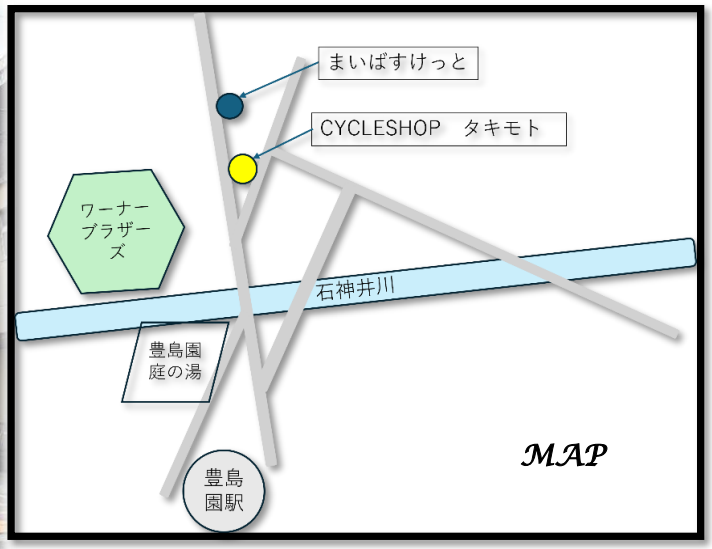
❹家庭・学校・地域・関係機関の連携を深めよう　子どもは、学校教育を受けながら、家庭や地域社会の中で成長します。家庭・学校・地域・関係機関が一体となって子どもを見守ることが大切です。お互いの信頼関係のもと、それぞれの役割を自覚し、交流、情報交換を行い、協力し合うことが必要です。

令和８年度版「練馬区青少年育成活動方針」より抜粋

協力店にインタビュー

今号は、青少年育成第二地区委員会にご協力をいただき、早宮４丁目にある滝本輪業社（CYCLE SHOP　タキモト）さんにお話を伺いました。





開業してから何年になりますか？

先代は終戦翌年の1946年から、そして私が跡を継いで1964年から62年間この場所で営業してきました。今年の12月で閉店する予定です。



地域の子どもたちの変化を感じることはありますか？

保護者とお店に来ていた小学生が、何十年かぶりに今度は我が子を連れて、一緒に訪れてくれたことがありました。そのように成長を実感でき、とても感慨深く感じる瞬間もあります。



入口に「健やか運動協力店」のシールが貼られています！

自転車の修理から、子どもたちのどんな様子が伺えますか？

メンテナンスをうっかり忘れたためにタイヤがパンクしてしまうケースがあります。ヘルメットをかぶっていない子どもも見かけますが、交通ルールを守ることで、自分も周りも守ることができるのだと思います。

自転車の青切符の新制度が始まりましたが、どのようなお考えを持たれていますか？

免許制である自動車と違う自転車だからこそ、自転車講習のような機会があるとよいと思います。

昔は交通安全教室や、学校単位での自転車点検などがありましたが、今は皆さん時間に追われて難しくなっているように感じます。保護者の方と一緒に定期的に点検をすることで、自転車はより安全な乗り物になると思います。

自転車屋さんの現状を教えてください。

他の業界と同じように高齢化が進み、練馬警察署管内のお店は12軒まで減ってしまいました。しかし練馬という地域は昔から横のつながりが強く、皆さん親切な方ばかりなので協力し合って頑張っています。









お店がある早宮はどのような地域性があると感じますか？

豊島園があったときは、商店街や個人店がたくさんありましたが、閉園してからは住宅が多くなりましたね。当時は目の前の道路で自転車や自動車の渋滞がとてつもなく、とても活気のある地域でした。



地域の子どもたちや保護者の方にメッセージをお願いします。

健やか運動の協力店として特別なことをしてきたつもりはなく、地域の大人として当たり前のことをしてきました。困ったときは、遠慮せずに近くのお店に立ち寄ってほしいです。協力店は子どもを「見張る」場所ではなく、「見守る」場所です。



写真左から

・滝本輪業社（CYCLE SHOP タキモト）
　滝本様
・青少年育成第二地区委員会
　環境健やか部会長　並木様

インタビューにご協力いただきました、
店主の滝本さん、青少年育成第二地区委員会の
並木委員、中橋局長ありがとうございました。

■編集後記■

63号の発行は、青少年育成第二・第一・第五地区委員会が担当しました。次号（64号）は、谷原地区委員会の協力店インタビュー、桜台・大泉北地区委員会の環境部委員のメッセージを予定しています。

各地区委員会より

「第一地区委員会文化環境部会の活動」

第一地区委員会は、小学校５校（豊玉・豊玉第二・豊玉東・豊玉南・南町）および中学校３校（豊玉・豊玉第二・開進第二）の学区域で活動しています。

文化環境部会の活動の一つとして、健やか運動協力店の方々とコミュニケーションを取りながら地域の子供たちの様子を聴かせていただいております。

同部会の事業では、「中学生意見発表大会」、「百人一首・かるた大会」を実施しております。特に「中学生意見発表大会」は、中学生の経験、気づきを原点に時間をかけ伝え方を練習し、大舞台で大勢の人の前で発表していただいています。

子供たちのために少しでも大舞台での発表を経験させたいという気持ちで始めた事業ですが、その中学生の力強い意見発表は、特に大人の心に強く響き、襟を正さずにはいられない程のクオリティの高さで、中学生という思春期の生徒の素直な心の現れが感動を与えてくれます。守られるという立場だけでなく、固くなった大人の頭と心を和らげてくれます。

是非、他地区からこの感動を御聴講にいらしてください。

青少年育成第一地区委員会　文化環境部会長　黒川　左奈江

地域と環境部会のこよみ　～地域の土と人情のかおり～

当地区委員会は、小学校３校（豊溪・八坂・光が丘四季の香）および中学校１校（八坂）の計４校を受け持つ地域で、青少年健全育成活動を行っています。

当地区委員会では、初夏には、土支田地域のおもてなし食文化から由来する「うどん作り教室」や、秋は、地域の畑をお借りして、収穫体験を行う「さつま芋掘り・みかん狩り」を行っています。さらに当地区委員会の環境部会では、夏に地域の盆踊りに合わせ、地域パトロールを行っているとともに、他地区と同様に健やか運動も行っています。

年末に、ご協力いただいている協力店舗様が取り組んでこられている地域の子どもたちの見守りや声掛けなどの活動に対し、感謝の気持ちを込めて、訪問しております。昨年度訪問した協力店舗様からは、「子どもたちが毎朝、挨拶してくれる。気持ちが良い感じです。」の感想や「トイレを貸してほしい、と子どもが店に来ることがある。」といったお話をいただきました。このようなお話をお聞きするにつれ、私たち委員は、日頃から子どもたちとのつながりを大切にしているんだな、とあらためて、協力店舗様に感謝しております。ありがとうございます。

当地区委員会が受け持つこの地域は、まだまだ地域のつながりが強く、子どもたちを見守る目が行き届いているように感じます。こういった地域の方の人情味あふれる雰囲気や環境を大切にしながら、健やか運動協力店舗様と当地区委員会とが手と手を携え、引き続き、子どもたちの見守り等、地域の青少年健全育成活動に取り組んでいければと考えています。

最後に、当地区委員会の青少年健全育成活動に対し、健やか運動協力店舗様をはじめ、小中学校・区立施設などの関係機関および地域の方々のお力をいただきたく、引き続き、ご協力のほどお願いします。

青少年育成第五地区委員会　環境部長　坂本　文子

令和８年11月１日発行
発行責任者　　練馬区教育委員会事務局　こども家庭部　青少年課
〒176-0012　　練馬区豊玉北6-3-1　　03-5984-4691(直通)

健やか運動についてもっと知りたい方はココからチェック（区HP）👉